

ZXタイプハンドルスイッチ（右側）

<Parts No: 174-1047> GPZ900R (A8-) 国内仕様（常時点灯）

GPZ900R (A11-) マレーシア仕様（常時点灯）

この度は、ZXタイプハンドルスイッチ（以下本製品）をお買い上げ頂きまして誠に有難う御座います。

取り付け作業を行う前に、必ず本取り付け説明書と、同梱のコーションラベルをお読み下さい。

注意：安全の為、作業を始める前には必ずバッテリーを取り外し、作業の支障となる車輛部品（燃料タンクなど）も、あらかじめ取り外して下さい。

注意：道路運送車輛の保安基準により、≪平成10年4月1日以降メーカー製作車輛、および平成9年10月1日以降の形式指定車輛は、原動機が作動している場合、常にライトが点灯している構造でなければならない≫と定められております。本製品を公道にてご使用になる場合、ヘッドライトはONの状態にし、切り替えレバーを取り外して下さい。取り外していない場合は新規あるいは継続検査に合格いたしません。

注意：車輛配線の都合により、テールランプのポジションはON・OFF切り替えは行えません、予めご了承ください。

①スタンダードの右側ハンドルスイッチを取り外し、本製品をハンドルに取り付けて下さい。

※本製品には回り止めのストッパーが付いております。ハンドルバーにストッパーのはめ込み穴がない場合は、穴あけ加工を施して取付けて下さい。

②本製品の6Pコネクターを車輛ハーネスの6Pコネクターに接続して下さい。

③本製品の3Pコネクターと、付属延長コードの3Pコネクターを接続し、フレームに沿わせてヒューズボックスまで配線を取り廻して下さい。延長ハーネスの4Pバイパスコネクターを左ハンドルスイッチの4Pコネクターへ割り込ませて接続して下さい。

④左サイドカバー内にある、ヒューズボックスを取り外し、ヒューズボックスの背面にある18Pコネクターを取り外して下さい。

⑤右図に示すC（青／黄）とE（赤／青）のコードをコネクターから端子付きの状態



で抜き取って下さい。

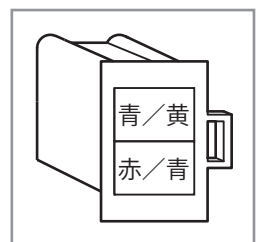
<端子抜き取り方法>

コネクター前面（差込み側）の端子上方向に隙間があります、この隙間の奥に金具から板状の抜け防止ストッパーが出ていますので、細長いピックなどを用いて押し下げながらコードを抜いて下さい。

※コード抜き取り時にカプラーを破損する可能性があります。作業は慎重に行って下さい。

⑥手順⑤の作業でコードを抜き取ったEの位置に本製品の青／黒のコードを挿し込んで下さい。

⑦右図をご覧下さい。手順⑤で抜き取った車輛ハーネス側の青／黄と赤／青のコードを本製品に付属の2Pカプラーに挿し込みます。端子の抜け防止ストッパーをピックなどで持ち上げ、右図の様に配線を配置して下さい。



※カプラーにストッパーが効いて、簡単に配線が抜けて来ない事をご確認下さい。

⑧黒のコード×2本をフロントブレーキスイッチに接続してください。

⑨本製品に付属の2Pバイパスカプラーをフレームに沿わせてテールカウル内に配置します。この部分にライセンスプレートランプ用の電源カプラーが御座いますので、割り込ませて接続して下さい。

バッテリーや取り外した部品を元通りにセットし、ZXスイッチの動作に問題が無い事を確認して下さい。

以上で取り付け作業は終了です。

ご不明な点は、購入店もしくは、(株)ピーエムシーまでお問合せ下さい。

